

(広報資料)

平成26年3月25日

KYOTO駅ナカアートプロジェクト実行委員会

〔交通局高速鉄道部営業課〕
〔TEL 863-5218〕
〔文化市民局文化芸術企画課〕
〔TEL 366-0033〕

京都の9大学の学生が、地下鉄の9つの駅をアートでジャック！ 「KYOTO駅ナカアートプロジェクト」の実施について

この度、京都市内の芸術系大学等9校及び京都市で構成するKYOTO駅ナカアートプロジェクト実行委員会では、「大学のまち京都」「文化芸術都市京都」ならではの取組として、協賛企業の協力のもと、京都の重要な都市装置である地下鉄駅のイメージアップを図り、地下鉄を魅力的なものとして活性化する「平成25年度 KYOTO駅ナカアートプロジェクト」を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

記

1 作品掲出期間

平成26年3月27日（木）～5月31日（土）

★9大学が一堂に集結！★

～作品掲出スタートを記念し、感謝状の贈呈とジョイントミーティングを開催します～

【日時】平成26年3月27日（木）14時から16時30分頃まで

【場所】コトチカ京都内 コトチカ広場特設会場

【内容】京都市からの感謝状贈呈と学生による作品制作発表・意見交換

2 作品掲出駅

地下鉄烏丸線：国際会館駅，松ヶ崎駅，北大路駅，五条駅，くいな橋駅

地下鉄東西線：柳辻駅，東山駅，二条城前駅，太秦天神川駅

3 平成25年度実施内容のポイント

- 開催3年目となる今年度は更に相互連携を深めるべく、京都市と芸術系大学等9校で新たに「KYOTO駅ナカアートプロジェクト実行委員会」を設立した。
- 地元京都に基盤を置いて活躍される京都ゆかりの企業6社から、事業への積極的なご参加と、経費面でのサポート（広告協賛）をいただくことができた。

4 主催等

主催：KYOTO駅ナカアートプロジェクト実行委員会

構成団体／京都教育大学

京都工芸繊維大学

京都嵯峨芸術大学

京都女子大学

京都市立芸術大学

京都精華大学

京都造形芸術大学

京都橘大学

京都府立大学

京都市(文化市民局, 交通局)

後援：京都商工会議所

協賛：(株) イシダ, オムロン (株),

GK京都 (株), (株) 島津製作所,

(株) 堀場製作所, 村田機械 (株)

※50音順



【オフィシャルポスター (イメージ)】

5 アンケートの実施

当プロジェクトの開催期間中、プロジェクトに関するアンケートをインターネットにより実施します。

(1) 実施期間 平成26年3月27日(木)～5月31日(土)

(2) 回答方法 パソコンや携帯電話から下記のURLへアクセス又は各駅の展示作品付近に掲示する二次元コードを読み込んで、アンケート入力画面から回答。

⇒ <http://enq-maker.com/7M18jVP>

(3) 回答者プレゼント





アンケート項目すべてにご記入いただき、平成26年5月31日(土)までにご回答いただいた方の中から抽選で交通局オリジナルグッズを20名様に差し上げます。


※ 当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。(6月末頃)


※ 抽選の対象は、プレゼントの発送に必要な事項(住所・氏名・電話番号)をご記入いただいた方に限ります。


6 各駅の作品概要


1 烏丸線 国際会館駅


担当大学	京都精華大学 指導教員：池垣タダヒコ教授，岸雪絵講師
作品タイトル	「12 Pieces of Fragment」 製作者：上田良
	インターネット上で、金閣寺、舞妓、石庭等、を画像検索すると拾うことができる「京都のイメージ」と、実際に京都の街中をスケッチし、集めた「京都のイメージ」という二つの視点を用いて制作しました。情報化(断片化)された京都を12点の連作にし、(インターネットの画像検索結果のように)ランダムに並べることで、新たな「京都のイメージ」にアクセスできるように試みました。
設置場所	改札内の壁面
作品タイトル	「京迷宮—もうひとつのかお—」 製作者：勇内真美
	わたしは夜の京都のまちを歩くことが好きです。京都の昼のかおは、寺社仏閣などがみえます。夜のかおは、あまり知られていませんが、明治時代からの西洋建築が、まどの灯りとともにかおをみせます。わたしはかつてにこの夜の姿を、京都の迷宮とよんでいます。昼夜でべつのかおをみせる京都の建築に出会ったときから、止まっていた学びの時計がうごきはじめます。
設置場所	改札内の壁面
作品タイトル	「松の木のある風景」 製作者：大八木夏生
	沢山の松の木がある天橋立の風景が、私にとっての印象深い京都の思い出のひとつになっています。松の木がどこまでもずっと並んでいる風景が、8年経った今でも印象深く記憶に残っていたので、それを元に制作しました。
設置場所	改札内の壁面
作品タイトル	「hana-no-en」 製作者：辻坂美咲
	京都といえば観光や修学旅行などが思い当たりますが普段ここで生活している人達にもあらためて古都京都を感じられるモチーフを描き子供から大人まで作品を見て楽しんでもらい、記念撮影できるようなスポットも設置しました。また、この駅を朝から夜にかけて通勤や通学で利用する人達にとって少しでも明るくなるような色彩をと考え、背景の色で午前午後の2つの時間帯を表しました。
設置場所	改札内の壁面



2 烏丸線 松ヶ崎駅	担当大学	京都工芸繊維大学 指導教員：山本建太郎教授
	作品タイトル	「ユメトロー夢見るメトロー」 製作者：倉知真麻/齊藤大/林千雅/角谷さつき/有吉央 服部莉加/Zonhan Go/Andrea Terrado/ Pattrawoot Tent Chantarungsi/橘温希/工藤沙希/奥田さおり/ 松野みどり/松浦美波/唐澤才/森岡祐加/堀井大輔/ 芹田純/尾崎由紀/東郷加奈子/岡田操佳
		ひつじが一匹，ひつじが二匹… 京都市営地下鉄が夢を見ました。暗い地下を飛び出して、 広大な緑の大地を走る夢です。無機質な地下空間は鮮やかな 芝生の大陸に覆われ，駅を訪れた人々の日常をつかの間の 小旅行へと誘います。ユメトロの世界の随所に散りばめ られた物語たちは，ひょっとすると，あなたが乗った電車の 行き先にも広がっているかもしれません。見慣れた京都 の街並みを抜けて，いつもの地下鉄でユメの旅に出ませんか。
	設置場所	改札外の壁面


3 烏丸線 北大路駅	担当大学	京都府立大学
	作品タイトル	「京都をリサイクル・アートする」 製作者：上村葉子/高嶋祐斗/齊藤千容/蔡宜佳/詹栩茵/ 陳譽云 指導教員：三橋俊雄教授
		お菓子の袋や魚のトレー，飲み物の紙パックや空き缶，不用 になった雑貨類など，日々の暮らしで当たり前のように捨て られてしまうものたち。それらを主役にして「舞妓さん」「伏 見稲荷」「祇園祭」「八坂の塔」「京野菜」を表現してみま した。見る人に小さな驚きと楽しさを味わっていただけたら と思います。そして，このような「捨てられるものたち」に ついて，ちょっと違う角度から考えるきっかけとしていただ ければ幸いです。
	設置場所	改札外の壁面・南北の連絡通路
作品タイトル	「かざぐるま」 製作者：漆戸航/萩原萌/青木香澄/関谷駿/深野奨/森貴臣 小島諒/陳驍/中内葉瑠花/中村咲子 指導教員：河西立雄准教授	


3 烏丸線 北大路駅		<p>地下鉄の駅は、毎日多くの人を使うにもかかわらず、薄暗く、そして単調な印象です。しかしそこに吹く風は、車両の出入りによって常に変化しています。</p> <p>そこで私たちは、日本の伝統的なものであるかざぐるまを使ってその風を可視化し、視覚的な変化をとり入れることで地下鉄の印象を少しでも変えられないかと考えました。かざぐるまは回ったり止まったりしながら風の変化を私たちに見せてくれます。風の向きや風がよく吹く場所など、今までは気にしなかったような小さな発見もあるかもしれません。壁に並んで、くるくるまわるかざぐるま。単調だった空間の印象を、少しでも変えることができたでしょうか？</p>
	設置場所	改札外の南北連絡通路の壁面


4 烏丸線 五条駅	担当大学	京都女子大学	指導教員：出井豊二教授
	作品タイトル	「もぐらもぐもぐ旅に行く」 製作者：池田菜由/大西みのり/喜多村茜/久納小季/ 坂本美紗子/関眞奈美/土谷くるみ/東西田真穂/ 野呂明香/廣坂野々香/古川陽/村田沙奈	
		<p>テーマは窓です。地下道からでも窓を通して京都と関連した風景が見るようにし「このようなところに行きたい」など見ていて気持ちが明るくなるようにしました。またそれぞれの窓の世界を、普段は地下にいるもぐらが地上に出てきて旅をし、日常を過ごすというストーリーになっています。京都に住む地元の方を含め通勤に使う利用者も多いため、閉じこもった地下の世界から、いろいろな世界が広がる楽しい空間を演出し、明るい気持ちになってもらおうと考えました。</p>	
設置場所	改札外の南北連絡通路の壁面		


5 烏丸線 くいな橋駅	担当大学	京都教育大学	指導教員：丹下裕史講師
	作品タイトル	「日々のくらしのなかで」 製作者：佐藤史菜	
		<p>碁盤の目のようにつくられた京都の街や繁華街の風景、電車、住宅、灯りのイメージをもとに作品を作りました。たたら状に伸ばした粘土を、その時の気持ちや手の進むままにいろいろな形に切り取っています。表面は私の目線から見つけた「京都の街にある形」を四角と線、連続した模様を使って自由帳に絵を描くような気持ちで表現しました。</p>	
設置場所	改札内の壁面		


5 鳥丸線 くいな橋駅	作品タイトル	「feelings」 製作者：上妻香菜
		地下鉄が地下にあること，駅の柱が木の幹のように見えたことから，この展示空間がとても有機的に感じられました。地層と年輪という重なりは長い時間を伴い，目には見えません。また，たくさんの人が行き交う駅の中では人の気持ちも漂うように思いました。この気付きと確かに存在するけれど見えないものとして「気持ち」「時間」をキーワードに制作しました。
	設置場所	改札内の柱
	作品タイトル	「京都駅ナカパトロール隊」 製作者：生田梢
		地下鉄駅ナカアートプロジェクトへの参加に際して，地下という空間を考えた時，「もしかしたら地下には私たちが知らないだけで，違う世界が広がっていて，違う生き物が暮らしているのかもしれない」という空想を抱きました。以前，地下は人や電車が行き来する場所ではなかったはずですが。そこで，突如地下の世界に出現した地上の人々が行き交う空間を，地下の世界の住人がこっそり観察しに来た姿を表現したいと思いました。今回，展示のテーマが「京都」ということで，作品には京都の焼き物の伝統技法である「上絵付け」の技法を用いて装飾を施しています。京都の地下の安全を守るため，駅ナカパトロール隊は，きっと今日もこっそり活動しているはずです。
設置場所	改札内の各所	

6 東西線 柳辻駅	担当大学	京都橘大学 指導教員：河野良平准教授
	作品タイトル	「Lotus」 製作者 主担当者：茂本阿弓 製作協力：寺坂匡平/濱美幸/藪根耕平
		本制作は地下鉄の華やかな雰囲気，人を惹きつける雰囲気を作り出すことを目的としています。作品に京都らしさ，地元の良さを組み入れ作品に仕上げました。京都らしさは切り絵を用いて表現しています。京都で有名な友禅に切り絵が使われていることからヒントを得ました。地元の良さは，モチーフとしてハスの花を使うことで表現しました。柳辻駅が最寄りの勸修寺はハスの花が有名なお寺です。この地元の美しい風景を作品に取り入れ，柳辻駅周辺の観光地をアピールしています。
	設置場所	改札外の壁面

7 東西線 東山駅	担当大学	京都造形芸術大学 指導教員：都築潤准教授
	作品タイトル	「京都予告編」 製作者：白川つむぎ/波多野眞理/溝邊尚紀/村上沙絵
		東山駅は様々な有名スポットの最寄り駅であるため、たくさんの人に利用されています。特に観光客に馴染みの深い駅なので、これから体験する京都を体感できるような展示にしたいと考えました。そこで私たちは、京都を「歴史」「文化」「自然」「現代」の4つに分け、それぞれのテーマを存分に体感してもらえよう、作品に“仕掛け”を施しました。駅は公共という性格を持っているので、ひとりひとりに働きかけるような特徴のある展示は印象に残るようにしました。
	設置場所	改札内・外の壁面や柱

8 東西線 二条城前駅	担当大学	京都市立芸術大学 指導教員：辰巳明久教授
	作品タイトル	「顔との遊び。そして、その中の感情・・・」 製作者：リ・キチャン
		人は普段自分の顔を見ながら生きているより、人に見られている時間が多い。自分の顔が自分以外の人にはどのように表れているのか。この京都の地で様々なところや場所に行き、撮った自分の顔を見る。同じ顔に違う雰囲気。その中に感じている感情の色。自分を表す顔からできる表現を作品とした。
設置場所	改札内の壁面	

9 東西線 太秦天神川駅	担当大学	京都嵯峨芸術大学 製作者：梅津順一/石本太一/山下比香理/松山彩実/ 玉井頌子/福岡栞/可児葉月 指導教員：山本直樹准教授
	作品タイトル	「きょうのゆめ」
		今日は、夢をみましたか？ 香りで夢を変えられたら…。そんな思いから夢と香りの制作が始まりました。「きょうのゆめ」では、メンバーが香りを感じ、夢をみて描き出すことを試みています。「京都」という空間がもつ香り—そこにあるさまざまな夢を描くことだけにとどまらず、みる人も作品の一要素である“香り”を感じることで、あなたに色とりどりの夢が増えていくことを願っています。
	設置場所	改札内の壁面

9 東西線 太秦天神川駅	作品タイトル	「折る・居る・織る」
		京都はどこにあるのだろうか。今、改札を出て周りを見る。お寺も神社も京都。賑やかな街も京都。コンビニも京都。若者が集まるショッピングモールを抜けると木造の町家があり、洋館が建ち、水路や田んぼがある。京都はどこかに漂っている。折る、居る、織る。京の文化や街並みは、過去と現代が調和し混じり合い、香り立っている。この作品は京都の多様でありながらも調和する姿を折り紙6000枚と香りで表現したものである。
	設置場所	改札内・階段の踊り場の壁面

7 今後の取組

平成27年の春、京都市において大規模な現代芸術の国際展「PARASOPHIA:京都国際現代芸術祭 2015」が開催されます。

KYOTO駅ナカアートプロジェクト実行委員会では、この開催時期に合わせて次回のプロジェクトを実施し、京都のまちの地下空間からも文化芸術の機運の盛り上げを図り、同芸術祭の成功に向けて十分に連携を進めていく予定です。ぜひご期待ください。

【参考】PARASOPHIA（パラソフィア）：京都国際現代芸術祭 2015 について

京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市が主催する国際展。豊かな文化遺産と自由な学術環境を持つ京都というまちの力を結集し、魅力に満ちた芸術祭の実現を目指す。

会期：平成27年3月7日（土）～5月10日（日）

会場：京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか府・市関連施設など

アーティスティックディレクター：河本信治（元・京都国立近代美術館学芸課長）

主催：京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市

協力：京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、京都嵯峨芸術大学

後援：国際交流基金

認定：公益社団法人企業メセナ協議会